



# ふじみだい

どうぞよろしく願っています！！

副校長 渡邊 知和

新緑が目鮮やかな季節となりました。皆様方には日頃から、富士見台小学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年になって、何度か東海道新幹線を使うことがありましたが、雲一つかかっていない美しい富士山を二回も新幹線の中から見ることができました。そして4月から富士見台小学校に着任です。富士に縁があるなあ嬉しく思っています。副校長の渡邊知和（わたなべ ちわ）と申します。何卒よろしく願っています。



年度のはじめはバタバタとしがちですが、保護者の皆様をはじめ地域の方々には、温かく富士見台小学校のことを教えていただき感謝です。また、子どもたちが人懐っこくてかわいいです。廊下ですれ違っても、教室を回っているときもさりげなく話に来てくれます。「先生、僕ね、富士見台小学校のホームページ楽しみにしているんだよ。」と言われ、「ああっ！そうなんだね！！先生頑張るよ。」と答えると「頑張って！！」と明るくエールをもらいました。自分自身にも気合が入ります。

さて、先日オレンジコースで帰る1年生のお友達と歩きながら坂の話になりました。「坂は下りたら上らなきゃいけないんだよね…僕毎日上っているよ。」くふふと笑いながら話す1年生も、この坂道を毎日上ってくるのだなと改めて思ったところです。冒頭、新緑の美しさに触れましたが、駅を出て、陸橋を渡り大きな白い集合住宅の前から階段を見上げると目に入ってくる青空と緑の木々。本当に美しいです。少し前まではピンク色の桜の花が年度の初めを彩るように咲き誇っていました。でも、階段や坂道に差し掛かると視界は道しか見えません。道とにらめっこしながら、およそ2分間頑張ると、岩井町公園の桜の木が天に向かってぐんぐん伸びている姿が目に入り、空の色や雲を視界に入れながら景色が広がっていき、岩井町郵便局のあたりで呼吸を整えます。朝のほっとする瞬間です。

坂道とはたまに人生にたとえられますが、たとえ辛いことがあっても、必ず抜けられるものなのだと考えます。呼吸がゼイゼイとしんどい音を出しても、辛さを抜けたときの安堵感は格別です。さらに、この坂道を毎日上ることによって、少し体力も付き、この坂道の2分の時間を少し縮めていきたいと思うから不思議です。人は目の前の様々な出来事に、時に歯を食いしばりながら時に笑顔で黙々と遂行しながら、それらの日々の経験からも力をつけ、たくましく生きているのかもしれない。「坂は下りたら上らなきゃいけないんだよ。僕は毎日上っているよ。」と話してくれた1年生が6年生になるころには、心も体もたくましく成長していくのだと確信しながら、副校長として、日々、子どもたちの成長を支えていきたい！そのような気持ちになりました。今後ともどうぞよろしく願っています。